

能登のいま

-被災地からのメッセージ-



令和6年能登半島地震。元旦を襲った大きな地震により、現地では今も尚、避難生活が続いている。全国から支援の手が差し伸べられているが、ニュースや話題になることも少なくなってしまった今、この災害がもたらした影響と支援に携わる方からのメッセージを受け取る。

ゲスト：池端 準也（輪島出身・在住：シェフ）

登壇者：佐藤 純（特定非営利活動法人 Hand Over Japan 代表理事）

関谷 麻実（東京能登被災者支援プログラム・ボランティア参加）



ゲスト

Junya Ikehata

池端 準也 氏

シェフ

1979年、輪島市生まれ。大阪の辻調理師専門学校を経て、2006年に渡仏し、ブルゴーニュにある星付きレストランで研鑽を積む。帰国後は大阪で出店予定だったが、帰省した際に「能登の食材の素晴らしさ」を目の当たりにし、急遽地元での出店を決意。2016年に「ラトリエ・ドゥ・ノト」がオープンした。地震により被災されながらも現地支援に携わる。

令和7年 2 月 9 日【日】

時 間 13:30～15:30

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 1,000円（学生・18歳未満の方は無料）

定 員 会場20名+オンライン20名（要事前申込）

会 場 飯田橋セントラルプラザ及びオンライン
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1

申 込 フォーラムホームページよりお申し込みできます
<https://www.tvac.or.jp/vf/>



■ 日時・会場・参加費

○分科会名： 能登のいま

○日 時： 2025年2月9日(日)13:30～15:30

○参加方法： 飯田橋セントラルプラザ10階会議室AB／オンライン(Zoom)

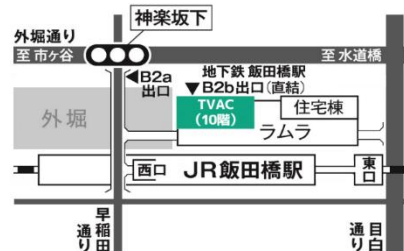
○定 員： 会場20名／オンライン20名



■ 市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2025 について

「分科会18:能登のいま」は「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2025」の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。今年のテーマは「Vamos! 市民社会のミライ～そのときわたしたちは何をしているだろうか?」みなさまのご参加をお待ちしています。

- 開催期間 2025年2月8日(土)～9日(日)
- 会場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか
- 参加費 1分科会1,000円 会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円(オンラインへの変更不可)
＊学生(専門学校含む)または18歳未満の方は無料
- 企画 ボランティアフォーラム TOKYO 2025実行委員会
- 主催 東京ボランティア・市民活動センター
- アクセス JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・
大江戸線 飯田橋駅 B2b出口



■ 参加申し込み方法

○「分科会18:能登のいま」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)

○参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。

○ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。



.....
[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 後藤・山添・太田・吉田・高山
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階
TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP <https://www.tvac.or.jp/vf/>

Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube

